

学校だより

令和4年1月18日(火)

市川市立市川小学校

# プラタナス



No.28 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

## 12月の学校評価の数値結果をお知らせします

12月末にご協力いただきました学校評価（保護者アンケート）の回答率は、77%（前回60%）でした。概ね6月実施の結果と同じではありますが、「児童の探究心」「運動機会の確保」「特色ある活動の周知」「児童へのきめ細かな指導」をさらなる課題として改善に努めます。

今後、児童の自己評価も踏まえて検討してまいります。ご協力ありがとうございました。

		アンケート項目	肯定的回答 (今回)	6月の 評価
確かな学力	1	お子さんは、学校に通うことを楽しいと言っている。	91.3%	90.9%
	2	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っている。	87.8%	87.9%
	3	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	67.9%	71.5%
	4	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	79.5%	80.6%
豊かな心	5	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	79.3%	78.5%
	6	お子さんは、自分の役割に責任をもって取り組んでいる。	86.0%	84.6%
	7	お子さんは、誰とでもやさしく関わっている。	92.6%	90.7%
	8	お子さんの自己肯定感(自己有用感)が高まっていることを感じる。	76.4%	75.9%
たくましい体	9	お子さんは、進んで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	↓ 69.4%	74.1%
	10	お子さんの体力(運動量)について、特に心配はない。	68.3%	68.7%
	11	お子さんは、自らの安全(交通事故・ケガなど)に気をつけて生活している。	89.7%	86.9%
	12	お子さんは、規則正しい習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	82.0%	85.5%
信頼される学校	13	学校は、目指す子供の姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めている。	87.1%	88.8%
	14	学校は、保護者や地域の方々とともに、子供を育てる取り組みを進めている。	82.6%	81.8%
	15	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	87.3%	86.2%
	16	学校は、特色ある取り組みや教育を進めている。	71.3%	71.5%
	17	学校は、特別支援教育あるいは配慮を要する児童への支援に関して丁寧に取り組んでいる。	77.7%	79.2%
	18	学校は、子供一人一人に適切な指導や支援を行っている。	79.6%	76.6%
	19	おたよりやメール、学校ホームページによる情報提供は適切に行われている。	92.0%	90.9%
	20	学校での教育活動や対応に、一定の安心感がある。	91.7%	88.6%

## 前号「鉛筆〇×クイズ」の解答



- A 1** JIS規格で、長さは172mm以上、太さは最大径8mm以下と決められています。
- A 2** 市川駅から成田空港第1ターミナルまでの直線距離で約44kmです。シャープ芯だと240m、油性ボールペンで1.5km、鉛筆だと50km書けるといいますから『〇』。
- A 3** 濃いほうから順番に、6B・5B・4B・3B・2B・B・HB・F・H・2H・3H・4H～9Hまでありますので、数えると17段階です。だから『×』。  
1年生や書き方ノートで、2Bが推奨されるのは、①小学校低学年はノートのマス目も大きいこと、②鉛筆の持ち方が安定しておらず、筆圧の強い子もいれば弱い子もいること、③濃く書けるやわらかい鉛筆は、日本語の特徴であるトメ、ハネ、ハライがしっかり書けることの3つが主だった理由です。
- A 4** 鉛筆を持つときは3本の指を使うので、3の倍数が正しく握れるといわれますが、転がり止めともされています。色鉛筆に丸軸が多いのは、広い面を塗る場合に鉛筆を回しながら使うのに適しているという理由からです。そう考えると『△』でしょうか。
- A 5** よいことは、●綺麗な字が書ける、●手、腕、肩、首、目が疲れない、●姿勢がよくなる、●勉強に長時間集中できる、●学習意欲が出て学力が向上する、●見た目が素敵。評価があがる、などが言われています。  
逆に、間違った持ち方によってそんなことは、上記の逆以外に、▼短時間文字を書いただけで手が疲れる、▼字が汚く歪む、▼視力の低下や背骨の歪みなど深刻な症状を引き起こす原因になるなどがあります。  
考え方は様々ですから、必ずしも〇か×で判断ができるものではありませんね。

細かい文字を書く際にはシャープペンシルが適していますが、鉛筆のよさを今一度考えながら用途によって使い分けてほしいと思います。部屋や教室内で迷子になっている鉛筆はありませんか？

<参考：トンボ鉛筆HP>



### お知らせとお願い

年が改まった一週間だけみても、首都圏の新型コロナウイルス感染者数は十数倍に跳ね上がっています。昨今、東京都では四千人前後が報告され、千葉県や市川市も増加の一途をたどっている状況です。一月中旬以降は、中学・高校・大学受験シーズンと重なることもあって、受験者のみならず、関係者全員の心配・不安のタネとなっています。このような状況を鑑み、以下の点について、改めて確認をさせていただくとともに、ご理解・ご協力をお願いします。

- (一) 健康観察・マスク着用・手洗い等を確実にし、児童本人が風邪症状を含めた体調不良にある場合は、登校を控えてください。  
登校後に発熱等がみられる、あるいは家族の体調不良が判明した場合は、下校させるためにお迎えをお願いします。
- (二) ①児童本人が前日発熱をして、翌朝には平熱に戻った場合、  
②同居家族(兄弟姉妹も)が体調不良で少しでもコロナ感染が疑われる場合、③家族が濃厚接触者とされたり、PCR検査を受検したりする場合も登校を控えてください。欠席扱いにしません。
- (三) コロナ感染が不安で登校を自粛する場合は、その旨を必ず学級担任へ申告してください。「出席停止」扱いとなります。それ以外の場合、病气やけがでない限り「事故欠席」です。なお、出席停止の場合、趣旨に照らし、外出を極力控えてください。
- (四) 児童登校後に校内で陽性者が判明して、学級閉鎖と並行して高原検査が必要となった場合、午前中であっても当該学級や学年の児童を早退させる判断をすることがあります。
- (五) 中・長期に渡り欠席する場合、連絡帳やプリント類の受け渡しは、来客用玄関前のレターケースで行うことができます。緊急性が低い物品のやり取りは極力控えますが、それ以外にもレターケース使用の場合は速やかに連絡を取り合います。
- (六) 学校への連絡には、メール(個別の返信はできません)を有効にご活用ください。また、土日感染が判明した場合には、その時点で学校携帯(070-3347-0851)に連絡をお願いします。